

教頭便り No4

平成28年8月21日(日)

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

体験入学の様子



夏休みもあっという間に残すところあと10日となりました。様々なことがあった中で、8月5日(金)には左の写真のように、たくさんの中学生や保護者の方々が体験入学にきてくださったことが大変有り難い事として記憶に残っています。当日は、学校概要説明、模擬授業(簿記・総合実践)情報処理(PC実習)などが行われましたが、移動に時間がかかり、一部で時間不足になった授業がありすみませんでした。来年はもう少し改良し、さらに興味をもってもらえるようにしたいと思います。

筑西市職員の方々の前で市活性化案の発表

もうひとつこの夏は、「リオデジャネイロオリンピックと共に過ごしてきたなあ」というのも実感です。水泳・柔道・体操・卓球・バドミントン・レスリング・陸上等、毎日日本人選手のメダル獲得の瞬間に日本中が熱狂していたことでしょう。日本選手の活躍には大変勇気をもらい、彼らの粘りや努力、不屈の闘志を大いに見習い、自分も頑張ろうという気持ちになりました。

さて、次のオリンピックはいよいよ東京です。オリンピックを開催することは、開催国にとって①経済効果 ②雇用促進 ③国民のスピリット向上 ④環境整備 等様々な利点があるようですが、本校の情報ビジネス科(3年5組)では、「どうしたら自分たちのふるさとが活気づくか」ということについて春休みから課題学習として取り組み始め、その成果を筑西市の職員の方々の前で発表することとなりました。7月5日(火)16:20から、川松秀夫校長、草深博明教諭(3-5担任)と筑西市在住の生徒15人が、下館武道館を訪問し、自分たちで作成したパワーポイントをスクリーンに写しながら説明を行ったり、職員の方々の質問に答えたりしました。右の15個の図は生徒たちが作成した資料の一部ですが、「SWOT分析」という、企業や事業を「強み・弱み・機会・脅威」の4観点から分析して経営戦略を考え出すという、一般企業で実際に用いられている有名な手法です。鬼怒商ではこのようなビジネス戦略を学びます。面白そうでしょ?



2. 活かす・克服するアイデア

- ① 地域の強みを生かすアイデア
- ② 地域課題を克服するアイデア
- ③ 地域活性化に貢献するアイデア
- ④ 地域活性化を実現するアイデア

筑西市はこれでおこし!

- ・道の駅などを活用した特産物市のPR
- ・SNSを最大限に活用した市の紹介文や写真などの掲載
- ・特産物の収穫体験や作業体験を行う

筑西市はこれでおこし

- ・観光客の誘致を目的としたイベントを開催する
- ・観光客の誘致を目的としたイベントを開催する
- ・観光客の誘致を目的としたイベントを開催する

筑西市はこれでおこし!

- ・田舎、耕作体験、筑西のおいしいおばあちゃんふれあいながら、農業体験。
- ・昔の歴史をめぐり、関越線や船玉古墳など歴史ある名所を学びながら楽しむ。
- ・暑さ対策!! 夏夏秋冬のおすすめグルメツアー。旬の食材を使った料理を食べる。



筑西市を広めよう

1. 海外の人に向けた英語版の観光物を使っておく
2. 観光客に向けた観光物の発行
3. 夏の観光物、季節ごとの観光物を紹介するアプリの開発と配布

筑西市はこれでおこし

1. 誰でも参加!! 田舎を回り体験
2. キングボードを筑西の名産を使ったグルメイベント
3. ソーラーパネルを利用し、熱、電気を生かした、学の実験と教育体験



筑西市はこれでおこし?

- ・筑西市一周! バスの整備=3
- ・スビカの中を有効活用大型SC
- ・下館道の駅で特産物誇り!